

(様式1)

動物実験計画書(新規・変更)

新規、変更のいずれかを○で囲む
(西暦) 年 月 日

宮崎大学長 殿

動物実験責任者
所属(学部学科等)
職名
氏名
内線番号

申請番号 _____
※更新限度を超えた実験計画を引き続き新規として
申請する場合、動物実験責任者のみを変更する場合は、
旧申請番号を記載してください。
旧申請番号 _____

1. 動物実験課題名(具体的に記入してください。)

2. 実験期間(西暦) 開始予定 承認日 、 終了予定 年 月 日

3. 動物実験実施者(実験責任者、飼養者等を含む動物実験に関与する全ての者の所属、職名、氏名を記入してください。)
*:計画書の実質作成者(委員会から内容等の問い合わせができる方)に●をつけて下さい。

*	氏 名	所 属	職 名 等	教育訓練受講履歴

* 学生実習等に関する名簿 ☐有 (実習等参加者が決定次第すぐに提出すること)

4. 動物実験の目的(目的の概要がわかるように記入して下さい。実験の具体的手法はこの欄ではなく 9-(1)、(2)等に記入してください。)

5. 使 用 動 物 種	系 統	微生物学的品質	上記実験期間中 使用予定頭数	導 入 元
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				

使用動物数(単位:頭)の算出根拠 (文言での簡潔な説明に加え動物種・系統ごとに計算式もしくは表を用いて示してください。)
(計算式の例: マウスAもしくは①: 10 頭× 2 群×10 回=200 頭 マウスBもしくは②: 10 頭× 3 群×10 回=300 頭
計 500 頭)

遺伝子改変動物の導入 <input type="checkbox"/> 組換え動物の導入無し <input type="checkbox"/> 新規導入有り(<input type="checkbox"/> 国内譲渡・ <input type="checkbox"/> 国際譲渡) <input type="checkbox"/> 既に導入済み 改変遺伝子名: 譲渡元:	6. 使用施設(飼育場所、実験場所にわけて記入。宮崎大学長の承認を受けた施設名を記載してください。) 飼養管理施設 実 験 室
---	---

7. 倫理的基準に基づいた動物実験の分類 (カテゴリー)

☐ A: 生物個体を用いない実験、あるいは微生物を用いた実験。

☐ B: 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。

☐ C: 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。

☐ D: 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。

☐ E: 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えようと思われる実験。

8. 特殊実験区分 (詳細を 9-(1) 欄に、 具体的な安全対策を 9-(2) 欄に記載)	1. <input type="checkbox"/> 感染実験 (接種微生物) 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 2. 遺伝子組換え動物作成実験 <input type="checkbox"/> 接種実験 (区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) 3. <input type="checkbox"/> 放射性同位元素使用実験 <input type="checkbox"/> 放射線使用実験 (飼育場所: 使用核種:) 4. <input type="checkbox"/> 発癌性物質投与実験 <input type="checkbox"/> 重金属投与実験 <input type="checkbox"/> 環境汚染物質投与実験 <input type="checkbox"/> 毒劇物等投与実験 (投与物質名:) 5. <input type="checkbox"/> 細胞等の生体材料移植・接種実験(細胞等の遺伝子組換え <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し)
---	--

9-(1) 動物実験の方法 (該当項目にチェックを入れ、その内容を書式に従って具体的に記入してください。)

☐ 【A】薬物等投与

薬物名 (必要に応じて 行を追加して下さい)	薬物のカテゴリー			投与部位					投与方法		
	発ガン 物質	毒劇 物	その他 (具体的に)	腹 腔	血 管	皮 下	脳 室	その他 (具体的に)	注 射	留置カテ ーテル	その他 (具体的に)

☐ 【B】細胞等生体材料移植・接種

使用生体材料		移植部位・方法		細胞株微生物汚染	細胞株の 遺伝子組換え
名称	由来	部位	方法		
				<input type="checkbox"/> 有り (汚染生物名 :) <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
				<input type="checkbox"/> 有り (汚染生物名 :) <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
				<input type="checkbox"/> 有り (汚染生物名 :) <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

※ 移植細胞等に安全管理上または医療倫理上の問題がある場合は 13 欄に内容を記入して下さい。

☐ 【C】抗 体 作 成 : 抗原 [], 使用アジュバント []

☐ 【D】感 染 実 験 : 感染微生物名: []
微生物の遺伝子組換え ☐有り、☐無し
レシピエント動物の遺伝子組換え ☐有り、☐無し

☐ 【E】外 科 的 処 置 : 処置法 []

☐ 【F】ス ト レ ス 負 荷 a. 負荷方法 []
b. 負荷期間 [☐ 時間・☐ 日間・☐ 月間・☐ 年間]

☐ 【G】遺伝子操作実験 : ☐ 遺伝子操作動物作成実験 ☐ 遺伝子操作動物接種実験

☐ 【H】材 料 採 取 : []

☐ 【I】放 射 線 照 射

☐ 【J】そ の 他 : []

(2) 実験方法を、処置を行う部位・内容・実験手順がわかるように具体的に記入してください。

10. 動物実験が必要な理由

(1) 動物を使用しない他の実験法（代替法）を採用しない理由。

(2) 本実験で使用する動物種を選択した理由。

11. 実験処置後、実験終了まで当該動物が生存する期間（処置ごとに記入してください。）

動物種/系統	処置方法	生存期間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間
		<input type="checkbox"/> 当該せず・ <input type="checkbox"/> 時間・日間・月間・年間

12. 動物が被る苦痛と苦痛軽減の方法

(1) 予想される苦痛の種類・程度を、実験操作時とそれ以降の実験期間（動物の生存期間）とに分けて具体的に記入してください。
（必要があれば、それぞれに対する苦痛軽減の方法を記入してください）

a. 実験操作時に予想される苦痛

b. 操作後の生存期間に予想される苦痛

承認を受けた実験内容を変更する場合、本書式に経過報告書を添えて変更申請を行って下さい。
また変更前後の記述内容をまとめた書式(様式自由)を添付して下さい。